

(7) 情報学部の近況

情報学部長 酒井 三四郎

学部長に就任して3年目を迎えました。引き続きよろしくお願いたします。情報学部はこの3月に第17期の学生を送り出し、創設以来、約3300人の卒業生を送り出しました。これまで浜松工業会様には卒業生が同窓会活動や就職先でお世話になるとともに、情報学部の在学学生に対するご支援、学部運営に関するご援助をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



工学部情報工学科の流れを汲む工学系の情報科学科と文科系の情報社会学科からなる情報学部は設立以来、文系、理系の区分や学問領域を超えて、情報に基づく社会変革の方法論に取り組んできました。この情報学部も創立20年を迎えました。この分野の人材育成はますます重要性を増しており、この節目に新学科「行動情報学科」を設立しました。新学科は次のような人材の養成を目的にしています。(1) 広範かつ客観的な調査分析に基づいた、企業の経営戦略の策定あるいは官公庁における効果的な政策立案ができる、高い問題解決力を備えた人材、(2) 多様なステークホルダーと連携して生活に密着した情報サービスを企画推進し、一方情報セキュリティや知的財産権の問題にも対処できる、高いマネジメント力をもった人材、(3) 大量かつ多様なデータ(ビッグデータ)や限定された対象に対する品質の高い詳細なデータ(リッチデータ)を分析する、データサイエンス能力を有する人材。また、昨年度、理工系の4つの大学院研究科(修士課程)を統合した新しい大学院「総合科学技術研究科」を設立しました。これにより、従来の情報学研究科と工学研究科の間の壁はなくなり、同じ研究科内の2つの専攻(情報学専攻と工学専攻)となります。研究のみならず、教育の場でも共通科目も設置され、益々、交流・融合が進むつつあります。さらに、この流れを発展させ、情報学専攻と工学専攻の統合や、工学・情報学・MOTの融合からなる創造教育、インターンシップなどにより、実際のものごとに触れながら(実体験、失敗体験)、ものごとづくりに優れたイノベーション人材を育成する産業イノベーションコース(仮称)の設置などを計画しています。

さて、平成28年度予算で浜松キャンパスに講義棟が新築されます。浜松キャンパスにおける慢性的な教室不足を解消するとともに、協調学習、反転授業など、アクティブラーニングに対応した教室も整備する予定です。情報学部の定員増40人と工学部の定員増10名に対応する教室サイズなど、設計を行っているところです。平成29年度の後期から授業に利用可能になる予定です。

今までにも増して、同窓会の皆様のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。